



理事長 真田光彦

ごあいさつ

会員の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご愛顧とご支援を賜わり厚くお礼申し上げます。

ここに当金庫の第80期の事業概況ならびに決算状況をご報告申し上げます。

2023年度の日本経済は、ロシア・ウクライナ戦争の長期化や欧州経済の低迷が続く
中、新型コロナウイルス感染症の5類への移行や企業の収益改善などにより緩やかな
回復基調を取り戻すものの、物価高に賃上げが追い付かず個人消費は力強さを欠きま
した。

先行きについては、企業の経営課題を見据えた人的・設備投資や輸出の拡大に
より、経済レベルは徐々に引き上げられていくことが見込まれますが、一方で米中の
金融環境や地政学リスクに伴う原油価格の上昇など内外経済を下振れさせるリスクに
は十分注意する必要があります。

2023年度は、「かわしん『支援力の強化と変革からの挑戦』3か年計画」の最終年
度に当たり、お客さまと共に豊かな地域の未来を創り上げ、地域金融機関としての強
固な経営基盤と確固たる地歩を確立するための諸施策を進めてまいりました。

その結果、業容面では、預積金の期末残高は8,783億円、貸出金の期末残高は4,075
億円となりました。

収益面では、業務純益は1,017百万円、経常利益は2,042百万円、当期純利益は
1,530百万円を計上し、自己資本比率は11.51%、不良債権比率は2.45%となりました。

今後の経済情勢は極めて不透明であり、金融機関を取り巻く環境はさらに厳しさを
増すことが見込まれますが、いかなる状況においても、新3か年計画「信頼される金
融機関を目指して」に基づき、地域シェアを維持・拡大しながら預積金や融資を安
定的に増加させ、地域社会の発展に貢献し、役職員一丸となり、地域と共に持続的に
成長する信用金庫を目指してまいりますので、今後とも皆さまのご愛顧とご指導 ご
鞭撻を賜わりますようお願い申し上げます。

2024年7月
理事長 真田光彦